

平成30年度 入学試験結果

(平成30年2月14日時点)

Table with columns: 学部 (Faculty), 試験区分 (Exam Category), 募集人員 (Recruitment), 試験日 (Exam Date), 志願者数 (Applicants), 合格者数 (Admitted). Rows include 医学部 (Faculty of Medicine), 歯学部 (Faculty of Dentistry), 薬学部 (Faculty of Pharmacy), and 保健医療学部 (Faculty of Health and Medical Sciences).

※昭和大学特待制度合格者…初年度の授業料免除(医・歯学部:300万円、薬学部:140万円、保健医療学部:105万円)

平成30年度一般選抜入学試験Ⅰ期・大学入試センター試験利用入試が、1月25日(歯学部・薬学部・保健医療学部)、26日(医学部Ⅰ次)の両日、東京・大阪・福岡の3試験場で行われた。医学部で実施している地域別選抜入試を今年度からは歯学部・薬学部・保健医療学部に拡大し、すべての学部で実施した

一般入試がスタート 4学部で地域別選抜入試を実施



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 千142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部 50円 毎月1回発行

- 3月号の内容
1面
・選抜Ⅰ期・センター利用入試を実施
・歯学部が川崎市歯科医師会と協定締結
・平昌五輪で本学職員が活躍
2面・3面
・定年を迎える教授の特別寄稿
4面
・3学部で白衣授与式
・合同企業説明会開催
・医学研究賞・学会等助成金授与式
・就任のお知らせ
・昭和大学サポート寄付制度
上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】
【本紙について：総務課出版・WEB・フォト係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院：
卒業教育課、入学支援課】
03-3784-8022 (旗の台)
0555-22-4403 (富士吉田)
045-985-6503 (横浜)
03-3784-8026 (入学支援課)

医学部
今年も狭き門の
医学部入試

医学部の一般入試(選抜Ⅰ期)は1月26日に一次試験が行われました。出願者数は昨年よりも若干減ったものの、490人で競争率は45倍でした。このうち550人が2月3日と4日に旗の台キャンパスで行われた

歯学部
昨年度から一転
志願者が増加

今年度の一般選抜入試Ⅰ期の志願者は480人と昨年度より27人増加し、大学入試センター試験利用入試A方式Ⅰ期の志願者は194人と昨年度とほぼ同様でした。また、今年度より大学入試センター試験利用入試B方式(地域別選抜)が初めて実施され、志願者は8人でした。
(歯学部長・宮崎隆)

薬学部
選抜Ⅰ期も
推薦入試に続いて
志願者増

薬学部の選抜試験Ⅰ期は1月25日に行われ、前年度より83人多い196人が出願し、学力試験と面接試験の結果、特待生合格者103人、合格者125人が発表されました。募集定員100人に対する競争率は9.5倍、実質競争率は4.1倍となりました。
(薬学部長・中村明弘)

保健医療学部
看護学科は
志願者約100人増

保健医療学部の一般入試(選抜Ⅰ期)は、1月25日に、TOCメッセを会場として行われました。志願者は、看護学科367人、理学療法学科103人、作業療法学科27人で、看護学科で22人増加しました。学力試験と面接試験の結果、1月29日に看護学科特待生合格者40人、合格者51人、理学療法学科特待生合格者13人、合格者32人、作業療法学科特待生合格者8人、合格者10人が発表されました。
(保健医療学部長・下司映)

二次試験に進み、2月6日に特待生合格者(初年次学費減免)78人、合格者171人が発表されました。また、大学入試センター試験を利用した地域別選抜入試は426人に志願者が増え、そのうち132人が2月11日の二次試験に進み、2月13日に特待生合格者初年次学費減免12人、合格者6人が発表されました。
(医学部長・小川良雄)



本学職員の獅子内美帆(総務課所属)、藤本もえこ(管財課所属)、浮田留衣(人事課所属)が、2月9日に開幕した平昌オリンピックのアイスホッケー女子に出場し、浮田は全試合を通して2得点を挙げ、藤本と獅子内も巧みなパスや体を張ったディフェンスなど攻守にわたる活躍を見せた。また、小口勝司理事長をはじめ多くの職員が、アイスホッケー初勝利の瞬間には歓喜の声が上がった。



保健医療学部の一般入試(選抜Ⅰ期)は、1月25日に、TOCメッセを会場として行われました。志願者は、看護学科367人、理学療法学科103人、作業療法学科27人で、看護学科で22人増加しました。学力試験と面接試験の結果、1月29日に看護学科特待生合格者40人、合格者51人、理学療法学科特待生合格者13人、合格者32人、作業療法学科特待生合格者8人、合格者10人が発表されました。
(保健医療学部長・下司映)

本学職員の獅子内美帆(総務課所属)、藤本もえこ(管財課所属)、浮田留衣(人事課所属)が、2月9日に開幕した平昌オリンピックのアイスホッケー女子に出場し、浮田は全試合を通して2得点を挙げ、藤本と獅子内も巧みなパスや体を張ったディフェンスなど攻守にわたる活躍を見せた。また、小口勝司理事長をはじめ多くの職員が、アイスホッケー初勝利の瞬間には歓喜の声が上がった。

スホッケー会場の江陵ホッケーセンターで試合を観戦し、選手たちに熱い声援を送った。さらに、予選リーグ3戦目の韓国・北朝鮮合同チームとの一戦では、旗の台キャンパスと近隣の品川区立第二延山小学校でパブリックビューイングを実施し、スマイルジャンプのオリンピック初勝利の瞬間には歓喜の声が上がった。

歯学部が川崎市歯科医師会と協定締結
広い分野で連携強化
本学歯学部は昨年12月5日公益社団法人川崎市歯科医師会と包括連携に関する協定締結した。調印式は旗の台キャンパスで行われ、本学の宮崎隆歯学部長と川崎市歯科医師会の山内典明会長が協定書に署名した。
同協定は学術研究や教育をはじめ災害対策や医療の相互支援などあらゆる分野での連携を強化し、互いの資源を有効活用することによって地域社会の発展に貢献することを目的としている。
これまでも本学は、心身に障害があるなど一般の歯



# 定年を迎える教授の

## 特別寄稿

### 定年退職にあたって



医学部 小児科学講座 昭和大学病院 小児科 板橋 家頭夫

1979年(昭和54年)に昭和大学を卒業し、直ちに昭和大学小児科学講座に入局しました。その後、いったん昭和大学を離れていたのですが、縁あって2002年(平成14年)に昭和大学横浜市北部病院(こどもセンター)に復職、2003年(平成15年)12月には講座主任教授を拝命し、本年3月をもって退任いたします。

任教授を拝命し、本年3月をもって退任いたします。教室員・同門はもとより昭和大学の皆さまには長きにわたりご支援をいただき心より感謝申し上げます。

主任教授に就任したおりに初期臨床研修が本格的にスタートする時期で、入局者が少なく、小児科医確保に苦心する日々が続きました。関連病院への派遣も思うようにならず、教室の先生方には大変つらい思いをさせてしまったことは今でも心苦しい限りです。

後教室員は少しずつ増えていき、昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学横浜市北部病院および派遣病院に所属している現役教室員の総勢は90人を越える陣容となりまして、各附属病院の小児科では、小児救急や新生児集中治療にも対応していますので、まだ十分な医師数とは言えません。

次代を担う子どもたちの健康と福祉を維持・発展させていくことはわが国の根幹に関わることで、必ずや小児科医を志す医師が増えてくれると期待しています。私の専門は新生児集中治療で、とくに低出生体重児の栄養や発育を中心に診療・研究を行ってきました。

わが国で唯一使用されている母乳強化パウダーの開発や出生後早期からの静脈栄養の導入、わが国の在胎期間別出生体格値の作成、EMLA(母子感染予防対策マニキュアの作成)などに携わることができ、臨床医冥利に尽きる39年間で、今後は後輩諸氏にバトンを譲り、昭和大学病院長としての職務に専念し、昭和大学の発展に少しでも寄与できるように頑張りたいと思います。

容となりまして、各附属病院の小児科では、小児救急や新生児集中治療にも対応していますので、まだ十分な医師数とは言えません。次代を担う子どもたちの健康と福祉を維持・発展させていくことはわが国の根幹に関わることで、必ずや小児科医を志す医師が増えてくれると期待しています。

私の専門は新生児集中治療で、とくに低出生体重児の栄養や発育を中心に診療・研究を行ってきました。わが国で唯一使用されている母乳強化パウダーの開発や出生後早期からの静脈栄養の導入、わが国の在胎期間別出生体格値の作成、EMLA(母子感染予防対策マニキュアの作成)などに携わることができ、臨床医冥利に尽きる39年間で、今後は後輩諸氏にバトンを譲り、昭和大学病院長としての職務に専念し、昭和大学の発展に少しでも寄与できるように頑張りたいと思います。

この21年間で充実した貴重な時間になり、このように定年を迎えることができているのは理学療法学科の先生方のご協力のおかげです。この間にさまざまな困難もありましたが、問題が生じたときの錯綜する議論の中でいつも一筋の光を見出すことができたのは、先生方の教育・研究への情熱と自由に語り合う風土があったからだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、今後の昭和大学ならびに昭和大学理学療法学科の益々の発展をお祈りいたします。

### 退任にあたって



医学部 小児科学講座 昭和大学病院 小児科 磯山 恵一

1978年(昭和53年)に医学部を卒業、開設3年目の藤が丘病院小児科レジデントとして院内に居住しながらの医師生活をスタートしました。当時の責任者である石川昭教授の下、数々のスタッフが立ち上げたばかりの診療科でしたが、

新しい小児科を作ろうという気概と希望を持って仕事をされていきました。小児血液疾患に偏ることなく、小児科医として必要な疾患を多数経験することができ、医師としての基本を叩き込まれました。研究や論文執筆についても厳しくかつ楽しく指導を受けたことが、つい最近のように思い出されます。

私は、約半年間の出張病院での勤務と13か月間のアメリカでの留学期間以外は、藤が丘病院に勤務することができました。現在では普通の治療法の一つになっている臍帯血移植が普及する端緒となった神奈川臍帯血バンクに関われたことや、厚労科研の分担研究とお

して医療の世界から社会のしくみを見るのができたことはとても大きな財産となりました。またその時々で、さまざまな方々と巡り合い、ご指導を受けました。大過なく今日まで勤め上げられましたのも、多くの諸先輩、同僚、数多くの後輩に恵まれたおかげと心から感謝しております。

今後は、昭和大学特任教授として新たなスタートをきりますが、今まで学んだことを生かし微力ながら昭和大学に恩返しをしていきたいと思っております。これまで同様、ご支援並びにご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

後の医療であったと思えます。1996年(平成8年)まで呼吸器内科としての研鑽をさせていただき、旧緑区医師会・横浜市医師会勤務医部会員の参加、内科系医局長として藤が丘リハビリテーション病院開院準備、総合医局長として横浜市北部病院開設に向けての検討への参加を経験させていただきました。1997年(平成9年)より豊洲病院内科助教として、肺の生活習慣病COPDを中心に呼吸ケア・リハビリテーション、在宅酸素療法などメデイカルスタッフとともに当該地域でのチーム医療に携わらせていただきました。2005年(平成17年)保健医療学部にて転出、2006年(平成18年)教養部から富士吉田教育部に改組された年に、新しく加わる保健医療学部新入生とともに富士吉田教育

の解明というテーマを掲げており、教室をあげて研究に勤しんでおりましたが、久光教授のお言葉の通り、私は教室のテーマに縛られることなく研究を行うことができました。感謝の言葉以外ありません。どうもありがとうございました。

異動9年後には、保健医療学部の完成年度に合わせ、大学院を開設することになり、長津田校舎に生理学担当教授として赴任いたしました。長津田校舎では、学生教育のみならず、副島和彦学部長(現名誉教授)の下、大学院の開設、運営に微力ではありましたが携わらせていただきました。誠にありがとうございました。今後は、長津田校舎での経験さらには昭和大学で学ばせていただいたことを糧に新天地で精進したいと考えて

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

### 定年退職に際して



富士吉田教育部 田中 一正

1973年(昭和48年)、今の職場であります富士吉田校舎から今と同じ富士山を眺めました。医学部4年次の指導担任でした藤が丘病院呼吸器内科の故野口英世教授との縁で、1979年(昭和54年)卒業と同時に、藤が丘病院内科24時間レジデント制臨床研修を受け、そのまま呼吸器内科に入局しました。私を変えた一番大きな事例はフアントム機墜落事故から4年経ったその

後の医療であったと思えます。1996年(平成8年)まで呼吸器内科としての研鑽をさせていただき、旧緑区医師会・横浜市医師会勤務医部会員の参加、内科系医局長として藤が丘リハビリテーション病院開院準備、総合医局長として横浜市北部病院開設に向けての検討への参加を経験させていただきました。1997年(平成9年)より豊洲病院内科助教として、肺の生活習慣病COPDを中心に呼吸ケア・リハビリテーション、在宅酸素療法などメデイカルスタッフとともに当該地域でのチーム医療に携わらせていただきました。2005年(平成17年)保健医療学部にて転出、2006年(平成18年)教養部から富士吉田教育部に改組された年に、新しく加わる保健医療学部新入生とともに富士吉田教育

の解明というテーマを掲げており、教室をあげて研究に勤しんでおりましたが、久光教授のお言葉の通り、私は教室のテーマに縛られることなく研究を行うことができました。感謝の言葉以外ありません。どうもありがとうございました。

異動9年後には、保健医療学部の完成年度に合わせ、大学院を開設することになり、長津田校舎に生理学担当教授として赴任いたしました。長津田校舎では、学生教育のみならず、副島和彦学部長(現名誉教授)の下、大学院の開設、運営に微力ではありましたが携わらせていただきました。誠にありがとうございました。今後は、長津田校舎での経験さらには昭和大学で学ばせていただいたことを糧に新天地で精進したいと考えて

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

### 定年退職に際して



保健医療学部 作業療法学科 浅野 和仁

私は1979年(昭和54年)に昭和大学大学院医学研究科博士課程に入学、学位取得後1983年(昭和58年)に故岡本謙一教授が主宰する医学部医動物学講座に助手として入職して以来、35年が経過いたしました。このたび、つががなくなり定年を迎えることができるのも私を支えていただいた恩師をはじめとする諸先生方、大学関係者の方々のお

かけと感謝申し上げます。私の昭和大学での35年間は大きく3つに区分することができます。最初の14年間は故岡本教授から教育・研究の分野に身を置く者の心構えをご指導いただき、その教えが今も私の中に根付いています。

その後、1997年(平成9年)5月に当時の中井医学部長から第一生理学講座(現生体制御学部門)への異動を打診され、久光正教授(現副学長)の元へ伺ったところ、研究テーマは現状のままでも良いが、大学院生の研究指導と生理学の講義を一部担当してほしい等のお話があり、久光教授の懐の深さや人柄に惹かれ、同年7月に生体制御学部門に異動、教育・研究に従事させていただきました。生体制御学部門は東洋医学の科学

の解明というテーマを掲げており、教室をあげて研究に勤しんでおりましたが、久光教授のお言葉の通り、私は教室のテーマに縛られることなく研究を行うことができました。感謝の言葉以外ありません。どうもありがとうございました。

異動9年後には、保健医療学部の完成年度に合わせ、大学院を開設することになり、長津田校舎に生理学担当教授として赴任いたしました。長津田校舎では、学生教育のみならず、副島和彦学部長(現名誉教授)の下、大学院の開設、運営に微力ではありましたが携わらせていただきました。誠にありがとうございました。今後は、長津田校舎での経験さらには昭和大学で学ばせていただいたことを糧に新天地で精進したいと考えて

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

師が、安易にがん薬物療法を行うことは、内科系医師が手術をすることと同じであると発言した。カンファレンスなどで時に歯に衣を着せぬ発言をしたことは、このような想いがあったからである。昭和大学病院では、腫瘍チーム医療や腫瘍診療のプラットフォームとして、5年間余りの職場として、5年間余りを母校に奉職できたことは、望外の幸せであった。この間、大まかな腫瘍診療の道筋をつけたと自負しているが、昭和大学の「チーム医療」が真の意味で質の高い「チーム医療」へと発展することを学外より切に祈っている。

### 定年退職に際して



保健医療学部 理学療法学科 関屋 昇

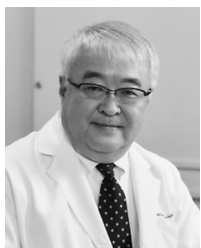
昭和大学医療短期大学の開設時1997年(平成9年)から理学療法学科の教育に関わらせていただきました。山あり谷あり、実にさまざまなことがありましたが、昭和大学での教員生活21年間で、あっという間に過ぎていったというのが今の実感です。多くの方々にたいへんお世話になり、お陰様で大過なく業務を遂行することができたことに感謝申し上げます。

昭和大学医療短期大学の開設時1997年(平成9年)から理学療法学科の教育に関わらせていただきました。山あり谷あり、実にさまざまなことがありましたが、昭和大学での教員生活21年間で、あっという間に過ぎていったというのが今の実感です。多くの方々にたいへんお世話になり、お陰様で大過なく業務を遂行することができたことに感謝申し上げます。

昭和大学医療短期大学の開設時1997年(平成9年)から理学療法学科の教育に関わらせていただきました。山あり谷あり、実にさまざまなことがありましたが、昭和大学での教員生活21年間で、あっという間に過ぎていったというのが今の実感です。多くの方々にたいへんお世話になり、お陰様で大過なく業務を遂行することができたことに感謝申し上げます。

昭和大学医療短期大学の開設時1997年(平成9年)から理学療法学科の教育に関わらせていただきました。山あり谷あり、実にさまざまなことがありましたが、昭和大学での教員生活21年間で、あっという間に過ぎていったというのが今の実感です。多くの方々にたいへんお世話になり、お陰様で大過なく業務を遂行することができたことに感謝申し上げます。

### 終わりの戦い



医学部 内科学講座 腫瘍内科学部門 佐々木 康綱

昭和大学の医療の強みは、「チーム医療」といわれている。しかしこの言葉を何回も叫んでみても実質的な医療の質が改善されるわけでは

ない。腫瘍診療とは、まさにチーム医療そのものであり、臨床と基礎の各講座だけでなく昭和大学全学部にわたって何らかの形で、腫瘍診療に関わっている。チーム医療の実現のためには、インフラ整備が必須であり、遅ればせながらようやく多職種が同時に患者情報を共有するためのプラットフォームである電子カルテが導入されたことは何よりである。腫瘍診療がチーム医療を基盤とするとは言うまでもなく、またこの領域では「チーム医療」が昭和大学の専売特許でもない。それぞれの職種が高度な専門性に基づいて有機的に参画することこそが真の腫瘍チーム医療である。かつてある新聞に精通していない外科系医

ない。腫瘍診療とは、まさにチーム医療そのものであり、臨床と基礎の各講座だけでなく昭和大学全学部にわたって何らかの形で、腫瘍診療に関わっている。チーム医療の実現のためには、インフラ整備が必須であり、遅ればせながらようやく多職種が同時に患者情報を共有するためのプラットフォームである電子カルテが導入されたことは何よりである。腫瘍診療がチーム医療を基盤とするとは言うまでもなく、またこの領域では「チーム医療」が昭和大学の専売特許でもない。それぞれの職種が高度な専門性に基づいて有機的に参画することこそが真の腫瘍チーム医療である。かつてある新聞に精通していない外科系医

ない。腫瘍診療とは、まさにチーム医療そのものであり、臨床と基礎の各講座だけでなく昭和大学全学部にわたって何らかの形で、腫瘍診療に関わっている。チーム医療の実現のためには、インフラ整備が必須であり、遅ればせながらようやく多職種が同時に患者情報を共有するためのプラットフォームである電子カルテが導入されたことは何よりである。腫瘍診療がチーム医療を基盤とするとは言うまでもなく、またこの領域では「チーム医療」が昭和大学の専売特許でもない。それぞれの職種が高度な専門性に基づいて有機的に参画することこそが真の腫瘍チーム医療である。かつてある新聞に精通していない外科系医

昭和大学の益々のご発展を祈念いたします。

昭和大学の益々のご発展を祈念いたします。

昭和大学の益々のご発展を祈念いたします。

昭和大学の益々のご発展を祈念いたします。









### 合同企業 説明会開催 75社が参加

薬学部生向けの合同企業説明会が2月17日、昭和大学50年記念館で開催された。薬局や病院、製薬企業など75社が参加し、各社のブースを訪れた学生は真剣な表情で担当者の話に耳を傾け、積極的に質問をするなど今後のキャリア形成について真剣に考えている姿が見られた。



保健医療学部(1月19日開催)

### 3学部で 白衣授与式

歯学部・薬学部・保健医療学部の白衣授与式が執り行われ、437人の学生が校章入りの真新しい白衣に袖を通し、4月から始まる臨床実習の前にいっそう気を引き締めた。



歯学部(2月16日開催)



薬学部(1月24日開催)

### 医学研究賞・学会等助成金授与式 昭和大学医師会が7人を選出

昭和大学医師会が主催する医学研究賞・学会等助成金授与式が昨年12月4日、昭和大学病院で執り行われ、医学研究賞2人、学会等助成金5人の計7人が選ばれた。これは昭和大学医師会員を対象に、臨床・社会医学の分野において優れた原著論文を発表した筆頭著者を表彰するとともに、昭和大学が主管する学会・研究会などの開催費用の一部を助成金として交付するもの。平成27年度から前後期の年2回実施している。昭和大学医師会はこのほか、研修会やシンポジウムを通じた医療の普及や指導、医師の生涯教育の推進などを行っている。

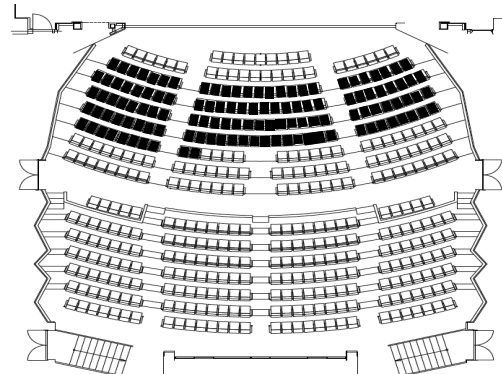


| 氏名                   | 所属                              | 研究内容  |
|----------------------|---------------------------------|---|
| 福田 桂<br>(医学研究賞 最優秀賞) | 医学部内科学講座腎臓内科学部門                 | 「膜性腎症における血清抗ホスホリパーゼA2受容体(PLA2R)抗体と臨床病理学的所見との関連」           |
| 石川 紘司<br>(医学研究賞 優秀賞) | 医学部整形外科講座                       | 「抗RANKLモノクローナル抗体投与後の低Ca血症の検討—安全な骨粗鬆症治療を確立するための新規予測因子の開拓—」 |
| 氏名                   | 所属                              | 学会等名称   |
| 門倉 光隆<br>(学会等助成金)    | 医学部外科学講座呼吸器外科学部門、横浜市北部病院呼吸器センター | 「第23回日本胸腔鏡下胸部交感神経遮断研究会」<br>「第176回日本胸部外科学会関東甲信越地方会」        |
| 末木 博彦<br>(学会等助成金)    | 医学部皮膚科学講座                       | 「第81回日本皮膚科学会東京支部学術大会」                                     |
| 高橋 春男<br>(学会等助成金)    | 医学部眼科学講座                        | 「第59回日本産業・労働・交通眼科学会」                                      |
| 岩波 明<br>(学会等助成金)     | 鳥山病院・病院長                        | 「東京都精神科医療地域連携事業平成29年度公開講座」                                |
| 三澤 将史<br>(学会等助成金)    | 横浜市北部病院消化器センター                  | 「第17回国際消化器内視鏡セミナー(横浜ライブ2018)」                             |

### 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々 (平成30年1月1日～1月31日お申し込み分)

基金への寄付  
 【職員】吉田 英機様  
 教育研究への寄付  
 【一般】水戸赤十字病院 院長 満川 元一様 【職員】中島 潤也様  
 学生支援への寄付  
 【父母】川崎 正仁様 【同窓】平泉 裕様(医・50回生)  
 創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設)  
 目標寄付金額：10億円  
 累計寄付金額：352,872,853円(H30.1.31現在)  
 ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條講堂(新)座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)  
 【一般】水戸赤十字病院 院長 満川 元一様 / カミナル株式会社 代表取締役 田邊 幸則様 株式会社日本生科学研究所 様  
 【父母】西川 順一様 / 唐 典子様 / 川又 均様  
 【同窓】平泉 裕様(医・50回生) / 会田 秀介様(医・44回生) / 菅沼 孝夫様(医・49回生) / 横田 容子様(歯・26回生) / 相馬 利光様(薬・19回生) / 藤巻 達男様(医・25回生) / 藤巻 日出夫様(医・25回生) / 小森山 義弘様(医・40回生) / 医療法人ながつき会山本皮膚科医院 山本 匡様(医・54回生) / 村山 正則様(医・20回生) / 川上 佳子様(薬・28回生) / 大西 佳文様(医・64回生) / 川上 勝久様(医・30回生) / 花塚 和伸様(医・59回生) / 目時 信之様(医・37回生) / 大友 克之様(医・59回生) / 鶴野 淳之様(医・25回生) / 小柳 博司様(医・46回生) / 小柳 輝太郎様(医・49回生) / 中村 聡様(医・60回生) / 木村 通彦様(医・34回生) / 丸茂 明美様(薬・8回生) / 内野 モモヨ様(医・33回生)  
 【職員】櫻井 基一郎様 / 長友 安弘様 / 倉田 なおみ様 / 吉田 英機様 / 岩井 謙憲様  
 【備考】※申込順となっております。  
 ※名前の公表を希望されない方については、掲載していません。  
 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。  
 医…医学部 歯…歯学部 薬…薬学部 保…保健医療学部

上條記念館建設事業 上條講堂(新) イス芳名プレート席数  
 既申込数 122席  
 対象席数 437席  
 平成30年1月31日時点



※黒塗り部分が既申込席となります。  
 ※本事業への寄付が100万円以上の方が対象  
 ※前方2列はプレート設置対象外です。  
 (図)上條記念館内上條講堂(新)1階

### お詫びと訂正

第554号(平成30年2月号)4面の「昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々」で、氏名を誤って掲載しました。正しくは「街の内外科クリニック 新谷 隆様(医・61回生)・塙 勝博様(医・65回生)」です。ここにお詫びして訂正いたします。

### 就任のお知らせ (2月6日 理事会承認)

|  |  |
|--|--|
| <br><b>頭頸部腫瘍センター長 (再任)</b><br>嶋根 俊和<br>任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日   | <br>昭和大学学生部長<br>上條 竜太郎<br>(現：歯学部口腔生化学講座 教授)<br>任期：平成30年4月1日～平成32年3月31日                                     |
| <br>医学部附属看護専門学校長 (再任)<br>久光 正<br>任期：平成30年4月1日～平成33年3月31日   | <br>スポーツ運動科学研究所長 (再任)<br>三邊 武幸<br>任期：平成30年4月1日～平成33年3月31日  |
| <br>医学部内科学講座 消化器内科学部門 教授(員外)<br>(勤務地：藤が丘病院消化器内科)<br>長濱 正亞<br>(前：医学部内科学講座消化器内科学部門 准教授)<br>(勤務地：藤が丘病院消化器内科)<br>任命日：平成30年3月1日 | <br>医学部法医学講座 教授 (勤務地：旗の台校舎)<br>松山 高明<br>(現：医学部法医学講座 准教授)<br>(勤務地：旗の台校舎)<br>任命日：平成30年4月1日                   |
| <br>医学部内科学講座 消化器内科学部門 教授(員外)<br>(勤務地：藤が丘病院消化器内科)<br>長濱 正亞<br>(前：医学部内科学講座消化器内科学部門 准教授)<br>(勤務地：藤が丘病院消化器内科)<br>任命日：平成30年3月1日 | <br>医学部整形外科講座 教授 (員外)<br>(勤務地：藤が丘病院整形外科)<br>神崎 浩二<br>(前：医学部整形外科講座 准教授)<br>(勤務地：藤が丘病院整形外科)<br>任命日：平成30年3月1日 |
| <br>保健医療学部理学療法学科 教授(解剖学担当)<br>伊藤 純治<br>(前：保健医療学部理学療法学科 教授(員外))<br>(解剖学担当)<br>任命日：平成30年2月6日                                 | <br>保健医療学部理学療法学科 教授 (員外)(基礎理学療法学担当)<br>中村 大介<br>(前：保健医療学部理学療法学科 准教授)<br>(基礎理学療法学担当)<br>任命日：平成30年3月1日       |